



「鋼構造物の長寿命化技術」に関する講習会（案）

行事コード:25804／ 略称:「鋼構造物の長寿命化技術」

我が国は、社会基盤施設の高齢化が進み、高齢化を主因とした事故多発が危惧されています。社会基盤施設に関連する事故発生を回避し、安全・安心な社会を構築するためには、社会基盤施設の適切な現状把握、確認された変状に対応する措置を効率的・効果的に行うことが必要となります。「鋼構造委員会構造物の長寿命化技術に関する検討小委員会」では、国内外の資料や事例等を分析、提言することを目的に、産官学の委員構成で議論、検討を重ね、構造物の現状を定量的に把握する点検・診断技術、変状の進行度を工学的に予測する劣化予測手法、劣化予測に基づく最適な対策時期に行う長寿命化対策等の設計・施工技術、留意点などについて取り纏め、昨年度に成果報告会を開催させていただきました。成果報告会では、多数の学会員や参加者から報告内容に関して種々な質問や要望もあり、当委員会の成果について書籍として取り纏め、公表してもらいたいとの声が数多く聞かれました。このようなことから本委員会としては、先の委員会成果を見直し、最新の知見を加えて書籍販売し、関連講習会を開催することとしました。

今回取り纏めた書籍『鋼構造物の長寿命化技術』の概要は、構造物の現状把握に必要不可欠な「点検・調査・モニタリング」、適切な対策時期を予測、決定する「劣化予測・診断」、効率的・効果的な工法選定、設計・施工に関する「長寿命化技術」の3つの項目について分かり易く解説してあります。また、対策事例の紹介は、第一に国が地方自治体を支援し、代行して対策を行った四国整備局の事例、第二に先進的な大規模修繕に取り組み、対策効果をあげている阪神高速道路株式会社の事例、第三に海峡を跨ぎ、飛来塩分を日々浴びている困難な環境化で長寿命化対策を行っている本州四国高速道路株式会社の事例、第四に東京オリンピックが2年後に行われる首都東京の予防保全型管理に基づく、具体的な長寿命化対策事例について紹介し、解説しています。

今回開催する講習会は、「鋼構造委員会構造物の長寿命化技術に関する検討小委員会」の成果に加え、先の最新事例を各担当者から解説し、加えて有識者から鋼構造物の長寿命化について、最新の知見とトピックを紹介する内容となっています。

鋼構造委員会としては、社会基盤施設の急速な高齢化と安全性確保が喫緊の課題となっている現状において、既存の鋼構造物が保有している性能を定量的に評価し、その性能を向上させる多種多様な技術開発を行い、効率的・効果的な長寿命化対策が望ましい形で行われることを望んでおります。今回実施する『鋼構造物の長寿命化技術』講習会の成果が、鋼構造物に携わる技術者だけでなく、社会基盤施設に関係する多くの技術者に少しでも役立ち、今回発行した書籍及び講習内を活用いただければこの上ない喜びと思っております。

ここに示す本委員会の成果及び講習会のプログラムを参考にされ、多くの方々にご参加いただけるようお願い申し上げます。

1. 主催 土木学会（鋼構造委員会構造物の長寿命化技術に関する検討小委員会）
2. 期日 2018年10月17日（水）10:00～17:00
3. 会場 大阪市立大学文化交流センター 6階 研修室1 ホール
4. 定員 100名
5. 参加費 正会員 9,000円，非会員 10,000円，学生 3,000円（テキスト代を含む）
6. プログラム

- 10:00 ～ 10:30 鋼構造物の長寿命化技術
高木 千太郎
（構造物の長寿命化技術に関する検討小委員会委員長）
- 10:30 ～ 11:20 長寿命化に向けた点検・調査
玉田 和也（舞鶴工業高等専門学校）
- 11:20 ～ 12:10 長寿命化に向けた診断・劣化予測について
全 邦釘（愛媛大学）
- 12:10 ～ 13:10 休憩
- 13:10 ～ 13:50 （仮）長寿命化に向けた工法選定と施工
山口 恒太（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
- 13:50 ～ 14:30 修繕代行による小規模等吊り橋の対策事例
梶田 雄樹（四国地方整備局）
- 14:30 ～ 15:10 本四連絡橋の長寿命化対策
森山 彰（本州四国連絡高速道路株）
- 15:10 ～ 15:20 休憩
- 15:20 ～ 16:00 阪神高速道路の長寿命化に向けて
田畑 晶子（阪神高速道路株）
- 16:00 ～ 17:00 鋼構造物の長寿命化の要点とトピックス
山口 隆司（大阪市立大学）
- 司会 山口 恒太（構造物の長寿命化技術に関する検討小委員会）

なお、当日の講演内容、時間、講演者、講演順序等につきましては、都合により変更の場合がありますのでご了承下さい。

7. 申込方法

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>) の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛に FAX（03-3355-5278）でお申し込み下さい。申込書到着後、開催 1 週間前までに「参加券」をお送りいたします。

土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

- (1) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場で受付いたします。
- (2) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の 1 週間前までに下記「申込問合せ」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (3) 申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

8. 申込期限 2018 年 10 月 3 日（水曜日）

9. 問合せ先 （公社）土木学会鋼構造委員会（事務局担当：尾崎）

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3559

10. 詳細 <http://www.jsce.or.jp/event/frameset.htm>